

東京事業所における施設の先行解体撤去工事についての 2024 年度下期の実績と 2025 年度の予定

2023 年度末の事業部会（2023 年度第 3 回：2024 年 2 月 29 日開催）資料においては、同年度の下期の PCB 処理の操業状況と合わせて、操業と並行して実施している不要設備等に関する先行解体撤去工事について、同じ時期の実施状況の報告を行った。本年度では先行解体撤去工事にかかなりの進展があったことから、これを切り離し、本部会での資料-3「東京事業所における施設の先行解体撤去工事についての 2024 年度下期の実績と 2025 年度の予定」としてまとめ、示すことにした。今後もこのように対応していく。

東京 PCB 処理施設の先行工事を含む解体撤去工事の全体については、「東京 PCB 処理事業所 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去計画の概要」（東京事業部会承認 2022/10/31 承認、以下「概要」という）を策定し、施設の解体撤去の工程・工期等の概要を示した。また、概要では解体撤去の各作業・工事については、計画書及び報告書等の文書を作成し、東京事業部会の審議・了承を得たうえで、これらに従って進めることとしている。

概要で定めた施設の解体撤去の工程・工期の概要を添付資料-1 に、解体撤去の工程・工期ごとの作成文書の概要を添付資料-2 に示す。

東京事業部会は原則、年 3 回（7 月、10 月及び 3 月）開催しており、計画書等は該当工事等の前に事業部会に諮り、報告書は工事終了後の直近の事業部会に報告することを基本としている。

以上は先行解体撤去工事においても遵守しており、「東京 PCB 処理事業所 不要設備の先行解体撤去工事の実施計画書」（以下「実施計画書」という）を策定して計画的に進めている。

1. 2024 年度下期の先行解体撤去工事の実施状況

1) 2024 年度上期までの東京事業部会での作成文書の審議及び作業・工事の実施状況

表 1 に、先行解体撤去工事に係る 2024 年度までの東京事業部会での作成文書の審議状況を示す。2024 年度下期の審議については赤色で示した。（2024 年度上期は青色で示す。）

また表 2 に、先行解体撤去工事に係る作業・工事の 2024 年度までの実施状況および 2025 年度の予定、並びに東京事業部会における作成文書の審議の実施時期を示す。（2024 年度下期実績をは赤枠で示す。）

2024 年度下期は、2022 年度に開始した不要設備の先行解体撤去を引き続き進めた。

対象設備毎に、洗浄作業、PCB 付着状況調査、PCB 除去分別作業、解体撤去工事の各工程について、実施前に計画書の審議、終了後に結果報告書の審議を行い、承認を頂きながら着実に進めた。また、各工程の作業・工事の途中で部会が開催される場合には途中経過を報告した。

先行解体撤去の対象設備の 2024 年度下期の先行解体撤去工事の実施状況は次の通りである。

表 1 先行解体撤去の作業・工事に係る作成文書の審議状況(2022～2024 年度)

* 赤字;2024 年度下期に審議
青字;2024 年度上期に審議

No	解体撤去設備等	作成文書	東京事業部会での承認・審議予定
1	リン含有 PCB 油前処理設備	洗浄等計画書	2022 年度第 2 回で承認(2022.10.31)
		洗浄等報告書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
		PCB 付着状況調査計画書	2022 年度第 2 回で承認(2022.10.31)
		PCB 付着状況調査報告書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9)
		PCB 除去分別計画書 PCB 除去分別報告書	2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9) 2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
2	安定器等処理設備	解体撤去工事実施計画書 解体撤去工事実施報告書	2023 年度第 1 回で承認(2023.8.10) 2024 年度第 1 回で承認(2024.8.5)
		洗浄等計画書 洗浄等報告書	(予備洗浄設備) 2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9) 2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
		PCB 付着状況調査計画書 PCB 付着状況調査報告書	(予備洗浄設備) 2022 年度第 3 回で承認(2023.3.9) (破碎分別設備) 2023 年度第 1 回で承認(2023.8.10) 2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30)
		PCB 除去分別計画書 PCB 除去分別報告書	2023 年度第 2 回で承認(2023.10.30) 2024 年度第 2 回で途中経過を承認 (2024.10.23) 2024 年度第 3 回で審議予定(2025.3.10)
		解体撤去工事実施計画書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
3	コンデンサー解体設備	洗浄等計画書 洗浄等報告書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29) 2024 年度第 2 回で途中経過を承認 (2024.10.23) 2024 年度第 3 回で審議予定(2025.3.10)
		PCB 付着状況調査計画書 PCB 付着状況調査報告書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29) 2024 年度第 2 回で途中経過を承認 (2024.10.23) 2024 年度第 3 回で審議予定(2025.3.10)
		PCB 除去分別計画書 PCB 除去分別報告書	2024 年度第 2 回で承認 (2024.10.23) 2024 年度第 3 回で途中経過を審議予定(2025.3.10)
4	鉄心コイル破碎分別設備	PCB 付着状況調査計画書 PCB 付着状況調査報告書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29) 2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
		PCB 除去分別計画書 PCB 除去分別報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23) 2024 年度第 3 回で途中経過を審議予定(2025.3.10)
5	廃粉末活性炭スラリー化設備	洗浄等計画書 洗浄等報告書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29) 2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
		PCB 付着状況調査計画書 PCB 付着状況調査報告書	2023 年度第 3 回で承認(2024.2.29) 2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23)
		PCB 除去分別計画書 PCB 除去分別報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23) 2024 年度第 3 回で審議予定(2025.3.10)
		解体撤去工事実施計画書 解体撤去工事実施報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024.10.23) 2024 年度第 3 回で途中経過を審議予定(2025.3.10)

☐;2024年度下期実績

*:PCB除去分別作業を実施した後にPCB除去確認調査を行い、付着PCBは解体工事着手基準以下であることを確認する。その後に解体撤去工事を実施する。

(1)リン含有PCB油前処理設備(解体撤去工事;2024/3 完了)

2023 年度に解体撤去工事(2023/12～2024/3)を完了し、2024 年度第 1 回部会(2024/8/5 開催)にて解体撤去工事の実施報告書が承認された。

(2)安定器等処理設備

2024 年度下期は、計画(2023 年度第 2 回部会で承認)に基づいて 2023/12 より開始した PCB の除去分別作業 2025/1 に終了し、その結果を本年度第 3 回の本事業部会で報告し、審議頂く予定である。

PCB の除去分別作業の終了後に実施する解体撤去工事については、2024 年度第 2 回部会 (2024/10/23 開催) で実施計画書が承認され、2025/3～2026/2 の期間で実施する予定である。

(3)コンデンサー解体設備

2024 年度下期では、2024/4 より開始した大型セル及びグローブボックスの洗浄作業を 2025/2 に終了し、本年度第 3 回の本事業部会で報告し、審議頂く予定である。2024 年度第 2 回部会 (2024/10/23 開催) で PCB 付着状況調査の途中経過報告書及び PCB 除去分別計画書が承認された。PCB の除去分別作業は、2025/1～9 に実施する予定であり、本年度第 3 回の本事業部会では途中経過報告書の審議を頂く予定である。

(4)鉄心コイル破砕・分別設備

2024 年度下期では、2024 年度第 2 回部会 (2024/10/23 開催) で PCB 付着状況調査の途中経過報告書及び PCB 除去分別計画書が承認された。PCB の除去分別作業は、2025/1～9 に実施する予定であり、本年度第 3 回の本事業部会では途中経過報告書の審議を頂く予定である。

(5)廃粉末活性炭スラリー化設備

2024 年度下期では、2024 年度第 2 回部会 (2024/10/23 開催) で PCB 付着状況調査報告書、及び PCB 除去分別作業計画書、解体撤去工事の実施計画書について承認を頂いた。PCB の除去分別作業は 2024/11～12 に実施し、解体撤去工事は 2025/2～4 の予定で実施中である。

本年度第 3 回の本部会において、PCB 除去分別作業報告書及び解体撤去工事の途中経過報告書の審議を頂く予定である。

2) 先行解体撤去作業・工事での解体撤去物の処理・払出しの実績

先行解体撤去設備の PCB 除去分別作業および解体撤去工事で発生する解体撤去物は事業所内で処理して有価物または産業廃棄物として払出し、元請会社により有価物または産業廃棄物として払出し、または低濃度汚染物として無害化処理認定施設へ払出しを行う。先行解体撤去物等の分類と処理方法については、その詳細を添付資料 3 に示す。

(1)解体撤去物(事業所内処理物)、元請会社による払出しの実績

表 3 に解体撤去物(事業所内処理物)について、既設設備で洗浄処理を行い有価物または産業廃棄物として払出すもの、加熱処理を行って産業廃棄物として払出すもの(これまでに実績はない)についての月別処理状況を示す。また表 4 に PCB の付着がない解体撤去物について元請業者が有価物あるいは産業廃棄物として搬出した月別実績及び見込みを示す。

解体撤去物(事業所内処理物)では、洗浄処理・有価物の 2024 年度 2 月末までの実績が約 50.8t、2024 年度では 66.68t の見込みである。産業廃棄物の払出しはなかった。

また、解体撤去物(PCB 付着なし)で元請業者が払出した有価物については、2024 年度 2 月末までの実績が 0t、2024 年度では 0t の見込みである。産業廃棄物の払出しはなかった。

表3 解体撤去物(事業所内処理物)の月別処理実績及び見込み

月度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024 年度 累計*1
		実績											見込み	
解体撤去物 処理重量(kg) (事業所内処理 物)	洗浄処理・ 有価物	567	0	1,600	3,774	7,152	5,526	2,856	9,753	2,156	1,522	2,060	29,713	66,679
	洗浄処理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加熱処理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*1 2024 年度見込みを示す。

表4 解体撤去物(PCB 付着なし)で元請業者による有価物・産業廃棄物の月別搬出実績及び見込み

月度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024 年度累 計*1
		実績											見込み	
廃材搬出重 量(kg)	PCB 付着なし・ 有価物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB 付着なし・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*1 2024 年度見込みを示す。

(2)二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出実績

表 5 に 2024 年度の解体撤去作業・工事で発生した二次廃棄物(低濃度汚染物)の 2024 年度 2 月末までの実績値と 3 月の見込みを、表 6 に年度別の搬出状況を示す。

また表 7 には 2024 年度の搬出状況の詳細を示す。

解体撤去工事に伴って発生する二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出については、初回搬出時に東京都、江東区と協議し、あらかじめ安全な運搬についてご理解を得た上で進めている。なお、二次廃棄物(低濃度汚染物)の月間搬出量の取り決めとは別に、解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の数量把握を実施し、東京都、江東区への定例の月次報告書において月間払出数量を報告している。

表5 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の月別搬出状況

月度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024 年 度累計*1
解体撤去に係る 二次廃棄物 搬出重量*1(kg)	5,356	232	184	359	406	501	1,728	848	412	1,800	986	32,931	45,743

*1 2024 年度見込みを示す。

表6 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の年度別搬出状況

年度	2023	2024	累計
解体撤去に係る 二次廃棄物 搬出重(kg)	60,846	45,743	106,589

表7 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の搬出状況

月・日		搬出先	種 別	荷姿 ¹⁾	解体撤去物 低濃度数量(t)
4月	19日	三光(株)	解体撤去物(金属くず他)	運搬容器	5.356
		計	トラック台数 1 台		5.356
5月	9日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(廃プラ)	プラ容器	0.147
	21日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.085
		計	トラック台数 2 台		0.232
6月	12日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(紙布類)	ドラム缶	0.184
		計	トラック台数 1 台		0.184
7月	23日	神戸環境クリエート(株)	運転廃棄物(廃プラ)	ドラム缶	0.049
	25日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(廃プラ)	プラ容器	0.220
			二次廃棄物(清掃ごみ)	プラ容器	0.090
		計	トラック台数 2 台		0.359
8月	2日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(廃プラ)	ドラム缶	0.097
	19日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙布類)	ドラム缶	0.238
	27日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(廃プラ)	プラ容器	0.071
		計	トラック台数 3 台		0.406
9月	2日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具)	ドラム缶	0.255
	17日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具)	ドラム缶	0.246
		計	トラック台数 2 台		0.501
上期計					7.038
10月	7日	光和精鉱(株)	解体撤去物(金属くず他)	ドラム缶	0.566
			二次廃棄物(金属くず・廃プラ)	ドラム缶	0.605
	16日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.184
	23日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(紙布)	プラ容器	0.265
	30日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.108
		計	トラック台数 4 台		1.728
11月	7日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(アルカリ中和汚泥)	ドラム缶	0.207
	13日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(廃プラ)	ドラム缶	0.083
	20日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙布)	ドラム缶	0.248
	26日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.135
	26日	三池製煉(株)	二次廃棄物(金属くず、廃プラ)	ドラム缶	0.175
		計	トラック台数 5 台		0.848
12月	5日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.058
	12日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.064
	13日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(紙布)	プラ容器	0.126
	16日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙布)	ドラム缶	0.164
		計	トラック台数 4 台		0.412
1月	20日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙布)	ドラム缶	0.428
	23日	杉田建材(株)	二次廃棄物(紙・木)	プラ容器	1.017
	28日	三池製煉(株)	二次廃棄物(金属くず、廃プラ)	ドラム缶	0.136
	29日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(保護具類)	ドラム缶	0.219
		計	トラック台数 4 台		1.801
2月	13日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具類、保温材、アルコール含浸紙、ゴム手袋)	ドラム缶	0.304
	18日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具、ゴム手袋)	プラ容器	0.285
	19日	光和精鉱(株)	二次廃棄物(金属くず、廃プラ類)	ドラム缶	0.397
		計	トラック台数 3 台		0.986
3月		杉田建材(株) 他	解体撤去物(金属くず他)	運搬容器	31.974
	5日	杉田建材(株)	二次廃棄物(コンクリート)	ドラム缶	0.363
	12日	三池製煉(株)	二次廃棄物(紙・木)	ドラム缶	0.326
	18日	神戸環境クリエート(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具類)	ドラム缶	0.095
	19日	群桐エコロ(株)	二次廃棄物(紙・布、保護具類、木くず)	プラ容器	0.173
		計	トラック台数 7 台		32.931
下期計					38.705
計					45.743

1) 運搬容器: 鋼製で 1,400L×1,000D×1,000H の密閉可能な箱。

低濃度汚染を確認した保温材はドラム缶で、また配管、バルブ・計器類及びポンプ類等の金属くずに当たる解体撤去物のうち、密閉した上で無害化処理認定施設 PCB が含浸した可燃物等が分別不能の状態でごみ込まれたものは、運搬容器に収納し 払い出した。

* 3 月分は想定値

3) 解体撤去に係る安全教育・訓練の実施状況

表8、表9に解体撤去に係る主な安全教育や訓練の状況を示す。運転会社への安全教育・訓練は、解体撤去業務にも携わっていることから、解体撤去に係るものとしても位置付けている。ハッチングした教育訓練は先行解体撤去に係る請負会社の作業員に対して実施したものである。

2024年度は、2月末時点で実施した安全教育・訓練は67件、受講者数は延べ2418名であり、その内、解体撤去に係る安全教育・訓練は17件、受講者数は73名であった。

表8 解体撤去に係る主な安全教育・訓練(2024年度2月末まで)

実施月日	教育・訓練内容	参加人員(名)	
		運転会社	解体請負業者
4月1日、2日、3日、5日	月例安全訓示	88名	
4月5日、8日、9日	入場時安全教育		15名
4月18日	通報訓練	53名	
5月7日、9日、13日、14日	月例安全訓示	91名	
5月8日、21日	入場時安全教育		2名
5月14日	クレーン教育	13名	
5月14日、22日	ゴミとマニフェスト教育	25名	
5月14日、31日	特化則教育	29名	
5月16日	ハーネスによる救助訓練	8名	
5月17日、27日	有機溶剤教育	15名	
5月17日、27日	安全運用教育	18名	
5月24日	フォークリフト・ウォークリーフト教育	7名	
5月28日、29日、30日	マスクフィット訓練	78名	
5月29日、31日	高圧ガス保安教育	22名	
6月4日、6日	月例安全訓示	91名	
6月12日	緊急オフライン対応訓練机上教育	9名	
6月3日	実践KY活動研修会	26名	
5月27日、6月7日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	粉じん教育	35名	
5月22日、6月7日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	乾燥設備教育	59名	
5月20日、6月7日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	低圧電気教育	73名	
5月20日、6月5日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	薬剤取扱教育	70名	
5月20日、6月5日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	酸欠教育	72名	
5月15日、6月7日、10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	作業管理システム・セキュリティ教育	70名	
5月22日	漏洩時対応訓練	8名	
5月23日	JESCOとの安全懇談会		12名
6月12日	緊急オフライン対応訓練	5名	
6月13日	熱中症予防教育	32名	
6月14日	入場時安全教育		1名
6月14日	JESCOとの安全懇談会		8名
6月10日、11日、12日、13日、14日、18日	ゴミとマニフェスト教育	44名	
6月10日、11日、12日、13日、14日、18日	特化則教育	40名	
6月10日、11日、12日、13日、14日、18日	安全運用教育	51名	
6月10日、11日、12日、13日、14日、15日、17日、18日	有機溶剤教育	54名	
7月1日、2日、3日、4日	月例安全訓示	82名	
7月1日	配置転換に伴う安全教育	4名	
7月2日、18日、22日	入場時安全教育		3名
8月1日、2日、5日、6日	月例安全訓示	86名	
8月21日、28日	入場時安全教育		2名
9月2日、3日、4日、6日	月例安全訓示	84名	
9月2日、24日	入場時安全教育		2名
9月24日	通報訓練	55名	
2024年度上期	累計安全教育・訓練実施数 41件 (内、解体撤去関連 8件)	1,497名	45名
10月1日、2日、3日、4日	安全訓示	81名	
10月1日、2日、4日	トラブル事例による再発防止安全教育	27名	
10月3日、15日、18日、25日	危険物予防規定教育	12名	
10月2日、9日、23日	令和6年度 放水訓練	20名	
10月16日、17日	入場時安全教育		3名
11月1日	入場時安全教育		1名
11月1日、5日、6日、7日	安全訓示	78名	
11月8日、10日、12日	高圧ガス保安法教育	22名	
11月18日、21日、22日、25日	2024年度上期血中PCB濃度測定結果報告会	74名	
11月28日	解体撤去災害防止協議会		4名
11月20日	総合防災訓練	97名	
12月2日、3日、4日、5日	安全訓示	81名	
12月2日、18日	入場時安全教育		2名
12月5日	産業医講話(脂質異常)	29名	
12月11日	通報訓練	54名	
12月18日	夜間休日緊急時対応訓練(D組)	29名	
12月26日	解体撤去災害防止協議会		4名
1月6日、7日、8日、10日	安全訓示	79名	
1月10日	夜間休日緊急時対応訓練(C組)	29名	
1月20日、21日	入場時安全教育		2名
1月30日	解体撤去災害防止協議会		4名
2月5日	夜間休日緊急時対応訓練(B組)	28名	
2月3日、4日、5日、7日	安全訓示	79名	
2月13日、17日	入場時安全教育		4名
2月18日	夜間休日緊急時対応訓練(A組)	29名	
2月27日	解体撤去災害防止協議会		4名
			0名
2024年度下期(2月末まで)	累計安全教育・訓練実施数 26件 (内、解体撤去関連 9件)	848名	28名
2024年度(2月末まで)	累計安全教育・訓練実施数 67件 (内、解体撤去関連 17件)	2,345名	73名

注) 色付けハッチングした教育・訓練は解体請負会社の作業者を対象にしたものである。

表9 主な安全教育・訓練ごとの実施日・回数・参加人数(2024 年度 2 月末まで)

No.	区分	教育・訓練内容		実施日	実施回数(回)	(人)	参加人数				
						0	20	40	60	80	100
1	操業体制	月例安全訓示	4月度	4/1～5	4	88					
2			5月度	5/7～14	4	91					
3			6月度	6/4～6	2	91					
4			7月度	7/1～4	4	82					
5			8月度	8/1～6	4	86					
6			9月度	9/2～6	4	84					
7			通報訓練	4/18	1	53					
8				9/24	1	55					
9			粉じん教育	5/27～6/17	10	35					
10		乾燥設備教育	5/22～6/18	10	59						
11		低圧電気教育	5/20～6/18	10	73						
12		薬剤取扱教育	5/20～6/18	10	70						
13		酸欠教育	5/20～6/18	10	72						
14		操業管理システム・セキュリティ教育	5/15～6/18	10	70						
15		特化則教育	5/14,31	2	29						
16			6/10～18	6	40						
17		有機溶剤教育	5/17,27	2	15						
18			6/10～6/18	8	54						
19		安全運用教育	5/17,27	2	18						
20			6/10～6/18	6	51						
21		ゴミとマニフェスト教育	5/14,22	2	25						
22			6/10～6/18	6	44						
23		クレーン教育	5/14	1	13						
24		ハーネスによる救助訓練	5/16	1	8						
25		フォークリフト・ウオーキークリフト教育	5/24	1	7						
26		マスクフィット訓練	5/28～30	3	78						
27		高圧ガス保安教育	5/29～30	2	22						
28		緊急オフライン対応訓練机上教育	6/12	1	9						
29		緊急オフライン対応訓練	6/12	1	5						
30		実践KY活動研修会	6/3	1	26						
31		漏洩時対応訓練	6/12	1	8						
32		熱中症予防教育	6/13	1	32						
33		配置転換に伴う安全教育	6/10～18	6	4						
操業体制 上期計：累計33件、137回、のべ1,497名参加											
34	解体工事体制	入所時安全教育	4月度	4/5,8,9	3	15					
35			5月度	5/8,21	2	2					
36			6月度	6/14	1	1					
37			7月度	7/2,18,22	3	3					
38			8月度	8/21,28	2	2					
39			9月度	9/2,24	2	2					
40		JESCOとの安全懇談会	5/23	1	12						
41	6/14		1	8							
解体工事体制 上期計：累計8件、15回、のべ45名参加											
2024年度 上期計：累計41件、152回、のべ1,542名参加											
42	操業体制	月例安全訓示	10月度	10/1～4	4	81					
43			11月度	11/1～7	4	78					
44			12月度	12/2～5	4	81					
45			1月度	1/6～10	4	79					
46			2月度	2/3～7	4	79					
47		トラブル事例による再発防止安全教育	10/1～4	3	27						
48		危険物予防規定教育	10/3～25	4	12						
49		令和6年度 放水訓練	10/2～23	3	20						
50		高圧ガス保安法教育	11/8～12	3	22						
51		2024年上期血中PCB濃度測定結果報告会	11/18～25	4	74						
52		総合防災訓練	11/20	1	97						
53		産業医講話(脂質異常)	12/5	1	29						
54		通報訓練	12/7	1	54						
55		夜間休日緊急時対応訓練	D組	12/18	1	29					
56			C組	1/10	1	29					
57			B組	2/5	1	28					
58			A組	2/18	1	29					
操業体制 下期(～2月)計：累計17件、44回、のべ848名参加											
59	解体工事体制	入所時安全教育	10月度	10/16～17	2	3					
60			11月度	11/1	1	1					
61			12月度	12/2～18	2	2					
62			1月度	1/20～21	2	2					
63			2月度	2/13～17	2	4					
64		解体撤去災害防止協議会	11月度	11/28	1	4					
65			12月度	12/26	1	4					
66			1月度	1/30	1	4					
67		2月度	2/27	1	4						
解体工事体制 下期(～2月)計：累計9件、13回、のべ28名参加											
2024年度 下期(～2月)計：累計26件、57回、のべ876名参加											
2024年度(～2月)計：累計67件、209回、のべ2,418名参加											

4)解体撤去に係る排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングの実施状況

解体撤去に係る排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングについては、「東京 PCB 処理事業所 PCB 処理施設の解体撤去における排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングに関する基本的対応」(2023. 10. 30 承認, 東京事業部会、以下「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」という。)に基づいて、対象期間(1 回/3 か月を基本)の測定項目のモニタリングを実施した。2024 年度 2 月までの解体撤去に係る環境モニタリング詳細一覧を「別紙 1」に示す。

(1)対象期間

2024 年度は通年にわたって対象作業・工事を実施する見込みであり、対象期間は 2024 年 4 月～2025 年 3 月とする。表 10 にモニタリング対象の作業・工事とモニタリング実施期間の関係を示す。

表10 モニタリング対象作業・工事とモニタリング対象期間の関係

対象設備	作業内容	2024 年度上期						2024 年度下期					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
安定器等 処理設備	PCB 除去分別	2023 年度 11 月～2024 年度 12 月											
	解体撤去							2024 年度 3 月～2025 年度 2 月(予定)					
コンデンサー 解体設備	洗浄	2024 年度 4 月～2024 年度 12 月											
	PCB 除去分別							2024 年度 1 月～2025 年度 9 月(予定)					
鉄心コイル 破碎・分別設備	PCB 除去分別							2024 年度 1 月～2025 年度 9 月(予定)					
廃粉末活性炭 スラリー化設備	洗浄			2024 年度 7 月～2024 年度 9 月									
	PCB 除去分別							2024 年度 11 月～2024 年度 1 月					
	解体撤去							2024 年度 2 月～2025 年度 4 月(予定)					
測定月	排出源モニタリング	○□△			○□△			○□△			○□△		
	周辺環境モニタリング	●■			●■			●■			●■		

凡例: 洗浄 PCB 除去分別 解体撤去

排出源モニタリング ; 排気・換気: ○、排水: □、雨水: △

周辺環境モニタリング ; PCB: ●、DXNS: ■

(2)測定位置

各項目の測定は、資料ー 1 「3. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果」図 14 (p. 15)で示す測定箇所を実施した。

(3)排出源モニタリングの結果

①排気・換気

表 11 に 2024 年度の排気・換気の測定結果及び 2020～2022 年度の 3 か年の操業時の測定結果を示す。

排気・換気の各測定項目の排出濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準を満足しており、操業時の 2020 年度～2022 年度の 3 か年の実績と比較して、概ねその範囲内である。

表11 解体撤去に係る排出源モニタリング(排気・換気)の実施結果

測定場所	測定項目	単位	測定結果(2024年度) ¹⁾				測定結果 (2020～22年度の範囲) ²⁾	評価基準 ³⁾	2024年度の 測定回数 ⁴⁾
			4/10,11	7/16,17	10/2,3	1/22,23			
排気系統1 (水熱分解処理・ 洗浄処理系)	PCB	mg/N m ³	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満～0.0010	0.01 以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/N m ³	0.0013	0.0026	0.0028	0.13	0.0025～1.1	100 以下	年4回
	IPA	ppm	0.1 未満	0.3	0.6	0.1 未満	0.1 未満～0.4	40 以下	年4回
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/N m ³	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満～0.0017	0.01 以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/N m ³	0.16	0.26	0.46	0.29	0.55～17	100 以下	年4回
換気系統1 (水熱分解処理・ 洗浄処理系)	PCB	mg/N m ³	0.00009	0.00015	0.00009	0.00013	0.00005 未満～0.00030	0.001 以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/N m ³	0.13	0.011	0.091	0.085	0.013～0.15	5 以下	年4回
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/N m ³	0.00008	0.00011	0.00010	0.00007	0.00007～0.00028	0.001 以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/N m ³	0.011	0.028	0.17	0.044	0.023～0.70	5 以下	年4回

- 1) 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。
- 2) 作業時の対比データとして掲載。
- 3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す評価基準。
- 4) 2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

②排水

表12に2024年度の排水の測定結果及び2021～2023年度の3か年の作業時の測定結果を示す。

排水の各測定項目の排出濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準を満足しており、作業時の2020年度～2022年度の3か年の実績と比較して、概ねその範囲内である。

表12 先行解体撤去工事における排出源モニタリング(排水)の実施結果

測定項目	単位	測定結果(2024年度) ¹⁾				測定結果(2020～ 22年度の範囲) ²⁾	評価基準 ³⁾	2024年度の 測定回数 ⁴⁾
		4/17	7/23	10/2	1/23			
PCB	mg/ℓ	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0015 以下	年4回
pH	—	8.4	8.3	7.9	8.0	7.4～8.1	5を超え9未満	年4回
n-Hex 抽出物質	mg/ℓ	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 以下	5 以下	年4回
BOD	mg/ℓ	0.5 未満	2.6	0.7	0.8	0.5 未満～7.4	600 未満	年4回
SS(浮遊物質)	mg/ℓ	1	2	2	1 未満	1 未満～14	600 未満	年4回
N(全窒素)	mg/ℓ	3.4	6.9	6.5	5.9	2.6～7.9	120 未満	年4回
DXNs ¹⁾	pg-TEQ/ℓ	0.69	0.038	1.2	0.76	0.011～1.3	5 以下	年4回
Zn(亜鉛)	mg/ℓ	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.09	0.05 未満～0.28	2 以下	年4回
P(リン)	mg/ℓ	0.06 未満	0.13	0.06 未満	0.06	0.06 未満～0.24	16 未満	年4回

- 1) 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。
- 2) 作業時の対比データとして掲載。
- 3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す評価基準。
- 4) 2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

③雨水

表13に2024年度の雨水の測定結果及び2021～2023年度の3か年の作業時の結果を示す。

雨水の各測定項目の排出濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における評価基準を満足しており、作業時の2020年度～2022年度の3か年の実績と比較して、概ねその範囲内である。

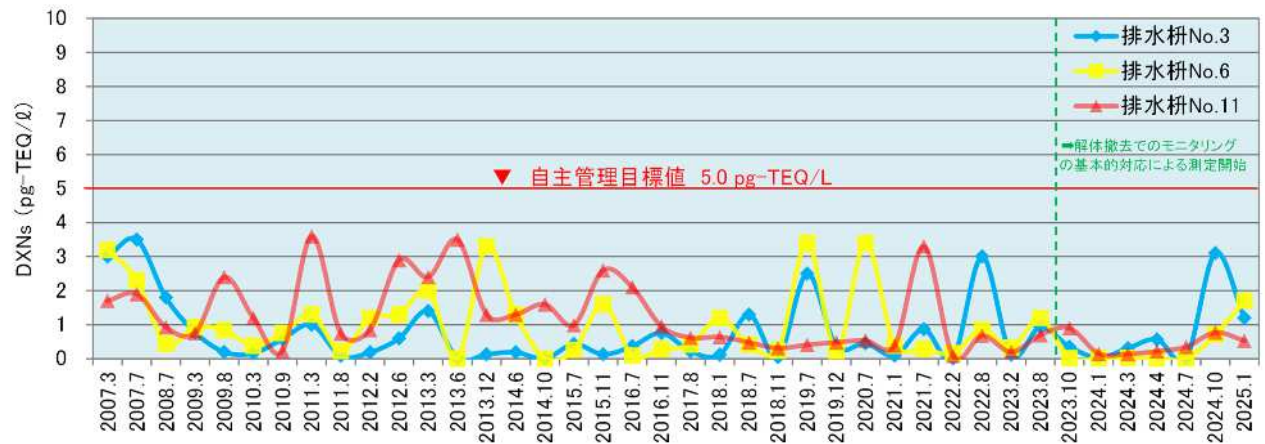
図1に雨水の経年変化を示す。

雨水については、夏に濃度が高い傾向が継続しているが、2024年夏以降は例年に比較して顕著な傾向は見られていない。引き続き推移を注視していく。

表13 先行解体撤去工事における排出源モニタリング(雨水)の実施結果

測定箇所	測定項目	単位	測定日 ¹⁾	測定結果	評価基準 ³⁾	2024年度の測定回数 ⁴⁾
No.3 雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005 未満	0.0015 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.0005 未満		
			2024.10.7	0.0005 未満		
			2025.1.23	0.0005 未満		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.0005 未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.57	5 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.011		
			2024.10.7	3.1		
			2025.1.23	1.2		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.012～3.0		
No.6 雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005 未満	0.0015 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.0005 未満		
			2024.10.7	0.0005 未満		
			2025.1.23	0.0005 未満		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.0005 未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.015	5 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.010		
			2024.10.7	0.71		
			2025.1.23	1.7		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.16～3.4		
No.11 雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005 未満	0.0015 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.0005 未満		
			2024.10.7	0.0005 未満		
			2025.1.23	0.0005 未満		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.0005 未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.22	5 以下	年 4 回
			2024.7.23	0.35		
			2024.10.7	0.77		
			2025.1.23	0.53		
			(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.090～3.3		

- 1) 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3 ヶ月内であれば1 回、4～6 ヶ月であれば2 回、7～9 ヶ月であれば3 回、10～12 ヶ月であれば4 回となるように実施する。
- 2) 作業時の対比データとして掲載。
- 3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2 に示す評価基準。
- 4) 2024 年度は12 か月間に渡って工事・作業があるため、年4 回の実施とする。



- 1)2007 年 3 月より測定開始
- 2)2023 年 10 月より「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」に基づく測定開始

図1 排出源モニタリング(雨水)の推移

(4)周辺環境モニタリング(敷地境界の大気質)の測定結果

①敷地境界における大気質(PCB)

表 14 に 2024 年度の敷地境界における大気質(PCB)の測定結果及び 2020～2022 年度の3 か年の作業時の結果を示す。敷地境界における大気質(PCB)の濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における参考評価基準を満足しており、作業時の 2020 年度～2022 年度の3 か年の実績と比較して、その範囲内である。

表14 解体撤去に係る周辺環境モニタリング(PCB)の実施結果(2024 年度)

測定項目	測定箇所	測定日 ¹⁾	測定結果	風向	参考評価基準 ³⁾	2024 年度の測定回数 ⁴⁾
PCB mg/m ³	南東端	2024.4.10～17	0.00005 未満	南南西	0.0005 以下	年 4 回
		2024.7.16～23	0.00005 未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005 未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005 未満	北北東		
		(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.00005 未満	—		
	北西端	2024.4.10～17	0.00005 未満	南南西	0.0005 以下	年 4 回
		2024.7.16～23	0.00005 未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005 未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005 未満	北北東		
		(2020 年度～2022 年度) ³⁾	0.00005 未満	—		

- 1) 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3 カ月内であれば 1 回、4～6 カ月であれば 2 回、7～9 カ月であれば 3 回、10～12 カ月であれば 4 回となるように実施する。
2) 作業時の対比データとして掲載。
3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表 2 に示す参考評価基準。
4) 2024 年度は 12 か月間に渡って工事・作業があるため、年 4 回の実施とする。

②敷地境界における大気質(ダイオキシン類)

表 15 に 2024 年度の敷地境界における大気質(ダイオキシン類)の測定結果及び 2020～2022 年度の 3 か年の作業時の結果を示す。

敷地境界における大気質(ダイオキシン類)の濃度は、いずれも「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における参考指標を満足している。作業時の 2020 年度～2022 年度の 3 か年の実績と比較すると、10 月の測定結果が 0.76～1.0pg-TEQ/m³と高い値であった。「3. 排出源モニタリング及び敷地境界での測定結果」で前述した通り、南風のときに周辺環境の影響で高い濃度が観測される傾向があり、10/2～10/9 測定でもこの状況で高い濃度になったと考えられ、解体撤去に係る作業・工事によるものではない。

表15 先行解体撤去工事における周辺環境モニタリング(DXNs)の実施結果

測定項目	測定箇所	測定日 ¹⁾	測定結果	風向	年平均値	参考指標 ³⁾	2024 年度の測定回数 ⁴⁾
DXNs pg-TEQ/m ³	南東端	2024.4.10～17	0.066	南南西	0.271	年平均 0.6 以下	年 4 回
		2024.7.16～23	0.21	南			
		2024.10.2～9	0.76	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.046	北北東			
		(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.0084～0.38	—			
	北西端	2024.4.10～17	0.16	南南西	0.404	年平均 0.6 以下	年 4 回
		2024.7.16～23	0.37	南			
		2024.10.2～9	1.0	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.087	北北東			
		(2020 年度～2022 年度) ²⁾	0.013～0.52	—			

- 1) 測定頻度は、除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3 カ月内であれば 1 回、4～6 カ月であれば 2 回、7～9 カ月であれば 3 回、10～12 カ月であれば 4 回となるように実施する。
2) 作業時の対比データとして掲載。
3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表 2 に示す参考指標。
4) 2024 年度は 12 か月間に渡って工事・作業があるため、年 4 回の実施とする。

図2に敷地境界における大気質（ダイオキシン類）の経年推移を示す。

主風向が南風寄りの夏季の測定結果を引き続き注視していくとともに、今後は他の季節でも風向に留意しつつ、監視を継続していく。

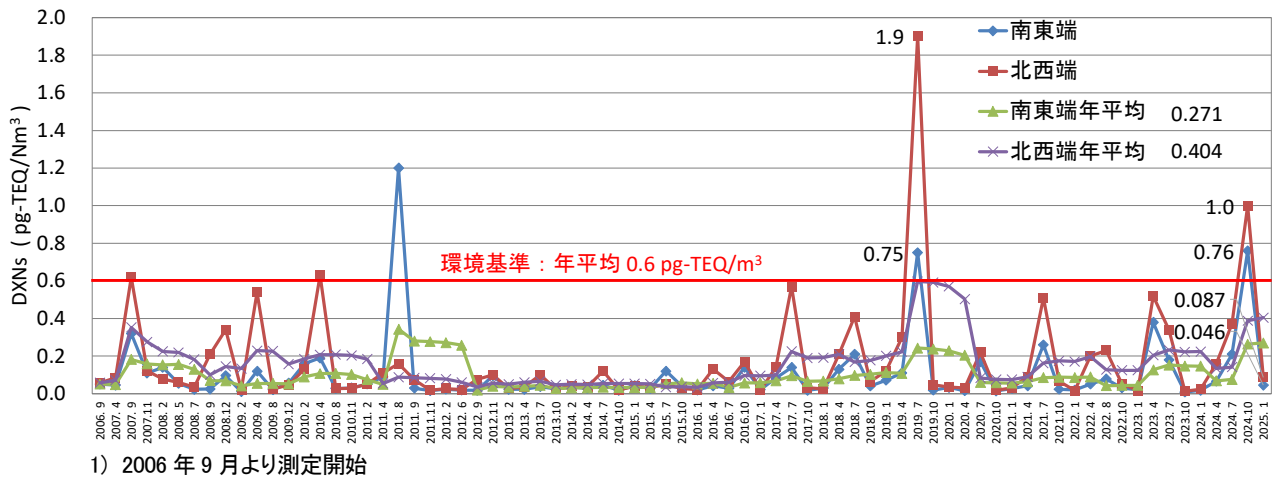


図2 周辺環境モニタリング(DXNs)の推移

(5)今後の予定

解体撤去に係る排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングについては、引き続き解体撤去の作業・工事の工程に対応して計画的に進めていく。

2. 2025年度における先行解体撤去工事の実施予定

1)2025 年度における東京事業部会での作成文書の審議及び作業・工事の実施状況

前述の表 2、表 16 に、2025 年度の東京事業部会における作成文書の審議予定及び作業・工事の実施予定を示す。

2025 年度は、2022 年度に開始した不要設備の先行解体撤去を引き続き進める。

安定器等処理設備については、2025/3 に開始した解体撤去工事を 2026/2 に終了する予定であり、第 3 回部会で審議頂く。

コンデンサー解体設備及び鉄心コイル破砕・分別設備については、2025/ 1 に開始した PCB 除去分別作業を 9 月に終了する予定であり、第 2 回部会で審議頂く。また、解体撤去工事は第 1 回部会で審議頂き、2025/10～2026/9 に実施後、実施結果報告書を 2027 年度の部会で審議頂く予定である。

廃粉末活性炭スラリー化設備については、2025/2 に開始した解体撤去工事を同 4 月に終了する予定であり、第 1 回部会で審議頂く。

表 16 先行解体撤去に係る作成文書の審議及予定及び作業・工事の実施予定(2025 年度)

No.	対象設備	作成文書	東京事業部会での審議予定	調査・作業/工事の実施予定
①	リン含有 PCB 油 前処理設備	—	—	2024/3 に解体撤去工事を完了
②	安定器等処理設備	解体撤去工事実施結果報告書	2025 年度第 3 で審議予定(2026/3)	解体撤去工事を 2025/3～2026/2 に実施する。
③	コンデンサー 解体設備	PCB 除去分別結果報告書	2025 年度第 2 回で審議予定(2025/10)	PCB 除去分別作業を 2025/1～9 に実施する。
		解体撤去工事実施計画書	2025 年度第 1 で審議予定(2025/8)	解体撤去工事を 2025/10～2026/9 に実施する。
		解体撤去工事実施結果報告書	2026 年度に審議予定(2026 年度)	
④	鉄心コイル 破砕・分別設備	PCB 除去分別結果報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024/10/23)	PCB 除去分別作業を 2025/1～9 に実施する。
		解体撤去工事実施計画書	2025 年度第 1 で審議予定(2025/8)	解体撤去工事を 2025/10～2026/9 に実施する。
		解体撤去工事実施結果報告書	2026 年度に審議予定(2026 年度)	
⑤	廃粉末活性炭 スラリー化設備	解体撤去工事実施結果報告書	2024 年度第 2 回で承認(2024/10/23)	解体撤去工事を 2025/2～4 に実施する。

2)2025年度の先行解体撤去工事での解体撤去物の払出し予定

先行解体撤去設備の PCB 除去分別および解体撤去工事で発生する廃棄物等の払出しについては、その詳細を添付資料 3 に示す。表 17 に先行解体撤去の対象設備ごとの 2023～2026 年度の解体撤去物の払出しの実績と発生見込みを示す。

解体撤去物は低濃度汚染物および有価物等（有価物および産業廃棄物）に分けて示す。

表17 解体撤去物に由来する低濃度汚染物、有価物の発生見込み

設備区分		実績		発生見込み				2026年度末の
		2023年度	2024年度			2025年度	2026年度	想定処理量
			上期実績	下期予定	計(予定)			
総計	汚染物	55,983	5,356	11,140	16,496	335,384	146,560	554,423
	有価物	33,258	18,960	46,119	65,079	131,936	36,640	266,913
	合 計	89,241	24,316	57,259	81,575	467,320	183,200	821,336
リン含有PCB油前処理設備	汚染物	55,983	0	0	0	0	0	55,983
	有価物	32,353	0	0	0	0	0	32,353
	小 計	88,336	0	0	0	0	0	88,336
安定器等処理設備	汚染物	0	5,356	4,244	9,600	153,600	0	163,200
	有価物	905	18,960	18,535	37,495	38,400	0	76,800
	小 計	905	24,316	22,779	47,095	192,000	0	240,000
コンデンサー解体設備	汚染物	0	0	4,800	4,800	139,200	128,000	272,000
	有価物	0	0	19,200	19,200	76,800	32,000	128,000
	小 計	0	0	24,000	24,000	216,000	160,000	400,000
鉄心コイル破砕・分別設備	汚染物	0	0	696	696	20,184	18,560	39,440
	有価物	0	0	2,784	2,784	11,136	4,640	18,560
	小 計	0	0	3,480	3,480	31,320	23,200	58,000
廃粉末活性炭スラリー化設備	汚染物	0	0	1,400	1,400	22,400	0	23,800
	有価物	0	0	5,600	5,600	5,600	0	11,200
	小 計	0	0	7,000	7,000	28,000	0	35,000